



東中国教区
 教区ニュース誌委員会
 〒710-0008
 倉敷市鶴形一五十五
 倉敷キリスト会館内
 TEL 086-422-1780

説教

「わたしが隣人」

津山城西教会 牧師 田中寛也

聖書…ルカ福音書十章二五―三七節



ある律法の専門家がイエスを試そうと「何をしたら、永遠の命を

受け継ぐことが出来るでしょう」と尋ねました。イエスが「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と返すと、彼は「あなたの神である主を愛しなさい。また、隣人をあなたのように愛しなさい」と律法にあります」と答えました。そこでイエスは「それを実行しなさい。そうすれば命を得られる」と命じました。

すると彼は「わたしの隣人とは誰ですか」と問い返したのです。私たちは素直に「はい、行います」とも、洪々でも「お言葉ですから、やってみましょう」とも言えない者です。そればかりか、私たちも「わたしの隣人は誰でしょう」とか「わたしの隣人となる価値がある人は誰でしょう」と反発してしまいます。

善きサマリア人のたとえば、エルサレムからエリコへ帰宅する祭司とレビ人、サマリア人の旅人を対照にして、わたしの隣人とは誰かをめぐる物語です。

彼は自分が祭司やレビ人の立ち位置にあることを悟ります。道途上に襲われて打倒されている同胞の男を発見し、今緊急の助けが必要だと察知したのです。ところが、自分がかかわりたくないのです。様々な言い訳を並べ立てて、見て見ぬふりをして、道の反対側の谷の方を通過して行きました。二人の人物が登場するのは、私たちが何度も正しい答えに促されながら、悔い改めに

目次

説教	1
新常置委員挨拶	2
新任教師オリエンテーション報告	4
オンラインサポーターチームからのあいさつ	5
寛谷に育まれて公平に	6
教会紹介	7
「台湾キャンプ」報告・編集後記	8

は至らない私という頑なさを突いているのでしょうか。

そこでイエスは隣人となるヒントを散りばめながら、サマリア人の行為に信仰者の姿を映し出します。隣れに思い、近寄って、介抱し、銀貨二枚を取り出し、支払いました。うと、彼が正しい答えを知っているながら、読み込んでいない真理に導かれます。

逃れられない状況に追い込まれ「その人を助けた人です」と小さく答えると、イエスは力と権威をもって「行って、あなたも同じようにしなさい」と命じられました。助けを求める人の言葉にならない呻き声に気づいた「わたし」が、その人の隣人なのです。主は私たちにも同じ言葉をかけてくださいます。

「御言葉を行うう人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になつてはいけません。」（ヤコブの手紙一章二二節）

「新常置委員挨拶」

蕃山町教会 河田直子



聖名を賛美いたします。第七二回東中国教区総会において、常置委員としてお委ねくださいましたことに感謝申し上げます。教区にある全ての教会の宣教が停滞することなく、主の祝福を受け、み言葉を宣べ伝える拠点としてさらに福音が広がっていくことを願い、主の栄光のために用いられますよう、仕えさせていただきたいと思っております。三期目となっても未だに教区の教会について不明なことが多くありますが、小さな教区ならではの良い交わりができますように。どうか、皆さまのお祈りでお支えください。

「コロナ禍後の宣教復興活動のために」

倉吉上井教会 田中英也



本年度定期総会で信徒常置委員に選出されました倉吉上井教会の田中英也（七十七歳）です。常置委員は、七年

目となります。また、財務委員は五年目となり、このたび前濱上進委員長の後任に選出されました。

前三年間はコロナ禍のために、多くの集会がオンラインで実施されたので、予算が大幅な節約となり、昨年度末までに「教区・教会財政支援資金」として蓄えました。本年度予算では、各部署委員会、各地区活動を復旧する。常置委員会の下に設けられた「教会強化特別資金運用特設委員会」の活動を推進する。本年度の総会で決定された「将来的東中国教区宣教を担うための骨子①②③④」を実行するために宣教予備費を活用して下さい。

「教区常置委員の一人として」

総社教会 土井しのぶ



私は、当時休止していた総社教会に移って今年で早や十年です。現任陪餐会員が数名の教会なのでずっと会計も書記も私です。しかし実は私、会計は全く苦手、書記は少しマシ程度なのです。

総社教会は岡山県中部地区に属しています。中部地区では、一泊修養会など参加し易いように費用を極力抑え、長年続けてきました。お陰で信徒間の交流もうん十年。教会再出発時以来、この繋がりに大いに助けられてきました。会計も助け手を得て感謝です。他の教会、垣根を取っ払えば人材は豊富です。垣根を外して「協働」を進めていきましよう。

「教区常置委員の一人として」

光明園家族教会 難波幸矢



少し手を引かねばと思う年齢ですが選んで下さり感謝です。神様が「幸矢、ここまでだ」と仰せになるまで働かせて頂きます。教会にこそある『平安』をお伝えしてまいります。また地域にあっても教区内にあっても、国がしでかしたハンセン病を患われた方々への悪法の下での人権蹂躪を知らない方々に「瀬戸内ハンセン病人間回復裁判を支える会代表」だった私として、最後まで真実を伝えたい

と思っけています。また地域にあって、特に心を注いでいるのは「NPO法人岡山きずな」です。最近上から目線の「ホームレス支援」の部分を名称から外しました。関わっていなければ気附かないことが多いです。

「常置委員とされて」

久世教会 宮本裕子



今年初めて、常置委員の一人に加えさせていただきました久世教会の宮本裕子です。久世教会に遣わされて、早や、今年は六年目となります。岡山での牧者としての暮らしも初めてでしたが、もう「何もわからないままに、なんとかやってます・・・」などとは言えない年月があつという間に、過ぎてしまいました。

今回はまた、常置委員という初めての体験ですが、主のみ旨と信じて、喜んで、東中国教区の宣教を皆様と共に考え、行っていきたいと思っています。東中国教区のそれぞれの教会の上に、神様のお導きと祝福が豊かにありますように。

「チームワークをたいせつに」

旭東教会 森 言一郎
十文字平和教会



五十年近く前の小学校四年生の時、私は大分県の海辺の村の小学校にあつたサッカー少年団に入部しました。今ではテレビで観るだけですが、その頃から、チームでするスポーツが好きなのです。たぶん、勝つても負けても、みんなと一緒に喜び、悲しめるからだと思います。賛美歌を歌う声が大きいのは、ゴールキーパーとして大きな声を出していたからかも知れません。変革期の東中国教区です。各地の教会・伝道所の皆さまと、弱さの中にあつても、声を出し合い、助け合いながら、互いの賜物が引き出される私たちでありたいと願っています。

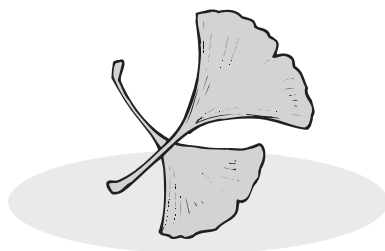
「常置委員」選ばれて」

岡山博愛会教会 渡辺真一



東中国教区にお世話になって早や八年目となりました。そこそこに長い期間になりましたので徐々に教区の中での務めが増えて

いき、もう新人顔はできないのかなと思っけております。そうしてこの度は常置委員に選出いただきましたが、なにぶん初めての経験となりますのでこの責務にどこまでこたえられるか不安は抱いております。教区の事柄については詳しい者ではありませんので、今回の選出をうけて少しずつでも教区の事柄について学びながら歩んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



「新任教師

オリエンテーション報告」

東中国教区 書記 木谷 実

二〇二三年度の新任教師オリエンテーションが七月二五日にオンラインにて開催されました。東中国教区の宣教基本方針、教区組織や制度についての説明があり、その後光明園家族教会の難波幸矢さんから、光明園についての話を聞く機会がもたれました。

私が赴任した四年前にも新任教師オリエンテーションにて光明園の話を聞いたのですが、コロナ禍前と以後では違った形で話が響いてきました。「病気に感染した人を差別し排除する」これはハンセン病の際にもコロナウイルス感染でも見られた出来事です。特に鳥取県では感染した方の個人情報や根拠のないデマが囁かれ、心に傷を負う事態となりました。人間の心に差別する感情がくすぶっており誰にでもありえ

ること。何も進歩していない人間の弱さを思わされます。それを忘れてしまわないために、最後まで関り続けることの重要性を思われました。

東中国教区では第七十二回定期総会にて「将来的東中国教区宣教」が可決されました。これから新しく様々な形で将来的な宣教のビジョンが語られていきますが、私たちの教区に光明園がありその歴史が続いていることを覚えて続けていきたいです。

岡山教会 廣田和浩

前半は、教区三役のお話で、東中国教区宣教基本方針に基づいて宣教を進めている、東中国教区の組織や制度等に関して学びました。東中国教区宣教基本方針は、一九九五年の第四十四回定期総会で可決されたものですが、方針の中に書かれている「無牧師教会・小規模教会をめぐる諸問題」は、時間を

経てなお一層深刻化しています。当時議員として決議に加わっていた者として、現状を先取りして提示されていたこの課題に、あらためて取り組んでいかなければならないと思いました。

後半は、難波幸矢常置委員のお話で、「歴史と現地から、残されたハンセン病諸問題を考える」と題された資料により、邑久光明園の歴史、現況、ハンセン病家族訴訟等について学びました。以前、初めて邑久光明園をお訪ねした時、瀬戸大橋と比べればはるかに短い邑久長島大橋が、同じ年（一九八八年）に開通したことを知り、人を隔てる差別や偏見の深さを思い知らされました。橋ではつながれたわけですが、ご高齢の回復者の方々の過去に断ち切られた人間関係は、まだまだ十分にながれることなく、人間回復には至っていないことを教えていただきました。

「オンライン」

サポートチームからのびらぎ

蕃山町教会 加藤 隆

二〇二三年五月に行われた第七十一回定期教区総会において承認されました、将来的宣教を担う四つの骨子のうちのひとつである「オンラインサポートチーム」がこの度結成されました。メンバーは湖山教会の木谷先生、倉敷水島教会の小岩先生、玉島教会の高津先生、津山城西教会の田中先生、岡山博愛会教会の渡辺先生、蕃山町教会の加藤、計六名です。

このチームでは、コロナ禍において、改めてその重要性が受け止められた「リモートによる礼拝、集会」の可能性を検討し、高齢化、過疎化、孤立化という、教区が今現在直面している課題に対して向き合っていくこと。また、教区の教会が現在それぞれに取り組んでいるリモート礼拝、集会を心理

的、技術的な面からサポートしていくこと。これらを主な目的として活動しています。今は結成して間もないということですが、リモート礼拝や集会のあり方を協議し、また技術的な面においても、それぞれが牧会している教会においてどのような形でリモートによる礼拝、集会に取り組んでいるかを共有しながら、互いに学びを深めているところです。

ありがたいことにチームの一人として呼んでいただきましたが、わたしも日常においてパソコンやスマートフォンなどを使ってはいるものの、まだまだ知らないことがたくさんあります。それでもチームの先生方と情報を共有し、学びを深めていく中で、体の問題や、施設にいる関係、仕事の関係などでどうしても日曜日に教会で礼拝を守ることの出来ない方々が、それぞれの場にあっても主の家族として信仰生活を送ることが出来るということへの希望や、今までは遠方から集まって行っ

ていた会議などをリモート化することによって、時間的、経済的なメリットが得られ、今まで行くことをためらっていた集会にも出ることが出来るようになる。そういったこれからの可能性を少しずつではありますが、見ることが出来るようになりました。

最後に、みなさまの教会へアンケートをお送りいたしました。リモート化に取り組もうとされている教会、また現在取り組んでいる教会において直面している課題や有益な情報。また教会でリモート礼拝、集会をしているけれどもやり方がわからないという思いをお持ちのみなさま。ぜひお声を聞かせてください。アンケートでなく直接でもかまいません。ぜひお手伝いをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

「寛容に育まれて公平に」

教区財務部委員

倉敷水島教会 濱上 進



会計の知識も経験もないエンジニアの私に、教区の財務の仕事など務まるはずもないと思っ

ていましたが、以来十五年に亘り試練と恵みに満ちた使命を与えられ、駆け抜けて来ました。ここまで勤めて来られたのは、自らの能力や努力の賜物ではなく、全教会の会計担当の方々と教区を組織する各種役員方の、信仰に培われた寛容なるご指導によるものだと思ひ、主の深き憐れみに感謝申し上げます。私が教区財務に引き込まれたのは、母教会で高校生会を指導して下さった前財務委員長の松田章義兄からの強い誘いと、二〇〇八年に開催された教区の「教会会計担当者研修会」で触れた『教団五十年データに見

る東中国教区の課題』（提案者 宮川経宣教区副議長）による将来の教勢変動予測により、教会の財政の危機感が読み取れ、教区レベルでも中期宣教計画へ伝道と宣教力強化が迫られている悲壮な訴えが心に響き行動力に火がつけられた思いでした。そして教区の財政力をこの改革のために用い、各個教会の負担を軽減して後押しすべきだとの使命感を感じさせられたのです。まずは、教区財政の基幹収入減である負担金の軽減に取り組みました。その折、最も意識したのは中立性と公平性でした。この施策は自教会にどう影響するか、少しでも有利な方向に調整しようとかの想いを断ち切って施策を立てることに専念しました。公平性では大きな教会と小さな教会では負担額には大きな差が出るが、恵みに対する負担感（率）は同等になる様にしなければならぬ。そのため負担金賦課計算方式には何度も改善を加えて参りました。現住陪餐会員当り賦課額の導入、経済規模ごとの経費や謝儀支給額に一定の控除を加え、控除後の経常支出額が一定額を

下回ると最低負担額も採用しました。

二〇一〇年から負担金総額の年二%軽減を継続してきましたが、二〇二〇年、新型コロナウイルス感染禍が襲い、宣教活動の中止・延期など自粛が重なり、信徒間の交流や、礼拝出席の制約など影響するに至り、急遽負担金の一律一〇%減額を打ち出しました。同時に、地区教区・地区機関の会議も自粛並びにWEB上のオンライン会議が多用されるに至り、予算執行率が激減し、剰余金の発生が予想されたことから、オンライン会議開催支援、WEB環境整備支援、加えてコロナ感染予防策への助成金などの備えを致しました。二〇二三年度に入り漸くコロナ禍も収まりを見せつつあり、新しい宣教の業も開始されるようになりました。激動の時期を過ぎてわれに返ると齢八十を超え健康状況も急速に衰え、今年度から委員長の座を新しい方に引継ぎ、さらに三人の新人を加えて新しい宣教計画に相応しい財政活動をサポートする側に回りたいと思います。

教会紹介

・米子錦町教会・

吉岡 俊

錦町教会は、一九二九年二月十日米子キリスト伝道館として、米子市富士見町に民家を借りて集会を開いた。一二月十日を創立記念日としている。一九四一年に日本基督教団米子錦町教会と改称。【英国聖公会清潔派】（バツクストン師）の流れ、【基督伝道隊活水の群】（主宰者柘植不知人師）に所属する。

米子錦町教会概要（出席者平均）

現在陪餐会員四一名、礼拝出席者二七名・教会学校三名・祈禱会八名・木曜聖書会八名・男子会二〇二二年休会・婦人会二三名月一回礼拝後牧師の講話、讃美歌を歌い、歓談（現在コロナの関係で休会）。現在行っている事、敬老お祝いのプレゼント、会堂、トイレ等の清掃、講壇の花、礼拝時の受付、

教会墓地の清掃、教会関係の他団体との交流等多岐にわたっている。青年会（現在休会）一九九九年ごろは男女の青年が、クリスマス祝会、教会学校の生徒たちと楽しく遊んでいた。

男子会・婦人会・青年会の各会長は教会役員に就任する（二〇二〇年まで）。教会学校の先生は、生徒のお母さんが担当、校長は牧師夫人。礼拝前九時三〇分から開く、川崎善三牧師の在任中生徒五〇名の名前が記録されている。青年会長細田久直兄、男子会員安楽久兄が先生として活動されていた。

ゴスペルの活動。代表者小徳浩子姉。奏楽者、讃美歌歌唱指導等に当たられている。毎年、クリスマス讃美コンサートを会堂で開催。外部の人も多数参加され宣教上有意義なものとなっている。

キリスト伝道会「活水の群」

本年は創立百年になる。第五八回御殿場研修会等、種々なイベントが計画されている。牧師御一家他多数の参加が望まれる。米子町西町で家庭集会が開かれ、米子キリスト伝道館への道が

開かれた。一九二六年のことである。

基本財産

会堂他（川崎善三牧師時取得）米子市錦町一丁目六、米子市勝町一四七の一 納骨堂、敷地面積四〇三㎡玄関（履物・便所・図書棚）、建物面積一八八㎡一階（応接室・洗い場）、延床面積三〇八㎡二階（会議室・多目的室）、会堂面積一八一㎡駐車場（二二台）牧師館一二六㎡鉄筋二階建



「こんにちは」のお部屋

「台湾キャンプ」報告

和気教会
三石教会
牧師 延藤好英

東中国教区主催「第二回台湾キャンプ」が七月三十一日から八月四日にかけて実施されました。これは五年前（二〇一八年）に起きた西日本豪雨災害時に東中国教区にささげられた献金を用いてのキャンプでした。実際の企画運営は「YMCAせとうち」が担ってくれました。今回の参加者は真備町からの子ども九人と西平島からの子ども三人でした。それに「YMCAせとうち」からリーダーやスタッフ八人が参加しました。わたしもチャプレンとして参加しました。

五年前に被災地に来て、特に西平島で被災家屋の修復作業をしてくださった台湾の牧師兼大工さんたちの内の三人が二日目の朝、宿泊していたホテル

に訪ねていただきました。成長した子どもたちを見て、また、また彼らが修復した家が今も使われていることを聞いて喜んでくださいました。詳しくは各教会に届けられる報告書を是非ご覧ください。



編集後記

暑いというより「熱い」といった方が頷けるような今夏。電気代は高騰しても冷房は稼働させないと過ごせない理不尽な状況が続きましたが、ようやく冷房なしで穏やかに過ごせる秋となりました。

忍耐にはきちんと終わりの時があることを思います。コロナパンデミック下の長い忍耐も然り、いまは感染症対応が五類に移行し、人の動きも徐々に活発になり、教区の諸行事も再開し始めています。依然として感染対策の懸念はありますが、コロナによって制限された人と人との交わりが再び深まって、大胆な宣教のはたらきが実現できますように願っています。

(W)

★ハラスメント相談窓口★

毎月第三水曜日 午前九時～午後九時
イイミミト
 電話番号 ○九〇―一三三三〇―八七三〇
ハナソウウ